



小学校一・二年生「書く」ワークシート①の答えと解説

☆文を書く問題です。

「いつ、だれが、何をした」が、分かる文を書く練習をしましょう。  
 一年生と 二年生で 学校たんけんを しました。

そのときの ようすを 作文に 書きましょう。

〈れい〉

いつ (きよう、 きのう、 ニじかんめに、)

1 ます あける	き	の	う、							
-------------	---	---	----	--	--	--	--	--	--	--

小さく書く字や  
「、」や「。」に  
気を付けましょう。

〈れい〉

だれが (わたしが、 ぼくは、)

ぼ	く	は、								
---	---	----	--	--	--	--	--	--	--	--

〈れい〉

がっこうたんけんをしました。  
 二ねんせいといっしょに、がっこうたんけんをしました。  
 がっこうたんけんを、たいいくかんにいきました。

が	っ	こ	う	た	ん	け	ん	で、
---	---	---	---	---	---	---	---	----

た	い	い	く	か	ん	に	い	き
---	---	---	---	---	---	---	---	---

ま	し	た。						
---	---	----	--	--	--	--	--	--

- 自分で文を書いたら、必ず読み返す習慣を身に付けましょう。
- 文字の間違いや文のつながり方を、自然に覚えることができます。
- 続けて、自分の思ったことや感じたことを書き加えていけるとよいです。

「じっくり しっかり くり返し」の4ページを参考にしてください。

なまえ

Blank box for writing the student's name.

「いつ、だれが(何が)、何をした(どんなだ)」が分かる文を書くことができるようにしましょう。

★ 文を 書きましょう。

一 みんなで あさがおの たねを まきました。

そのときの ようすを 文に 書きましょう。

〈れい〉

いつ、(きょう、きのう、にじかんめに、)



Writing grid for the first example. The top cell contains the text '1ます あける'.

〈れい〉

だれが(わたしが、ぼくが、)

Writing grid for the second example.

〈れい〉

何をした。

あさがおのたねをまきました。  
くろくて、さんかくのたねをまきました。  
ちいさなくろいたねをまきました。

Writing grid for the third example.

Writing grid for the fourth example.

Writing grid for the fifth example.

書いた文を 声に出して 読みましょう。

小学校一・二年生「書く」ワークシート②の答えと解説

☆文を書く問題です。

「いつ、 だれが、 何をした」が、分かる文を書く練習をしましょう。

みんなで あさがおの たねを まきました。

そのときの ようすを 作文に 書きましょう。

〈れい〉

いつ、 (きょう、 きゆう、 二じかんめに)

小さく書く字や  
「、」や「。」に  
気をつけましょう。

1ます  
あける

き

よ

う、

〈れい〉

だれが(わたしは、ぼくが、)

わた

た

し

は、

〈れい〉

あさがおのたねをまきました。

何をした。

くろくて、さんかくのたねをまきました。

ちいさなくろいたねをまきました。

あ

さ

が

お

の

た

ね

を

ま

き

ま

し

た。

は

や

く

め

が

で

る

と

い

い

で

す。

○自分で文を書いたら、必ず読み返す習慣を身に付けましょう。

○続けて、自分の思ったことや感じたことを書き加えていけるとよいですね。

「じっくり しっかり くり返し」の4ページを参考にしてください。

小学校一・二年生「書く」ワークシート③

なまえ

「いつ、だれが(何が)、何をした(どんなだ)」が分かる文を書くことができるようにしましょう。

★夏休みの おも 思い出を で みんなに し 知らせましょう。

「いつ」「どこで」「だれが」「何をした」のか、分かりやすく

書きましょう。

いつ

どこで

だれが

何をした

★れい

いつ…なつやすみの さいごに

どこで…ふくしまの おばあちゃんの いえで

だれが…わたしと おとうさんが

何をした…うみにいって およいだ。そして、さかなを

たくさん みた。



☆夏休みの思い出についての文章を書く問題です。

書きたいと思うことを決めて書くことは、とても大切なことです。

「いつ」「どこで」「だれが」「何をした」が伝わるように、書けるといいですね。

〈例〉

た		お	し		た	ん	く	す	1ます あける。
く	そ	よ	よ	お	。	の	し	み	わ
き	し	ぎ	に	と		い	ま	の	た
ん	て	ま	う	う		え	の	き	し
み	、	し	み	き		に	お	い	ほ
ま	さ	た	に	ん		い	ば	ご	、
し	か	。	い	と		き	あ	に	な
た	な		っ	い		ま	ち	、	っ
。	を		て	っ		し	や	ふ	や

様子や思いを書き加えると、  
とてもよい文になります。

「じっくり しっかり くり返し」の4ページを参考にしてください。

—答え2②— (小1・2国～達成目標3-4答えと解説～)

○書いた文を 声に出して読むと、自分の文のよいところを探すことができます。  
す。繰り返し、読んでみましょう。

○絵に描いてみるのも、よいですね。書きたいことが、また見つかります。



☆楽しかったことを文章に書く問題です。

書きたいと思うことを決めて書くことは、とても大切なことです。

「いつ」「だれが」「何をした」が伝わるように、書けるといいですね。

〈例〉

わ	は	パ	パ		て	ス	ん	か	1ます あける。
い		ン	ン	ぞ	い	と	に	ぞ	ぼ
か	ち	ダ	ダ	う	き	で	い	く	く
っ	い	の	を	と	ま	ん	き	と	は
た	さ	あ	み		し	し	ま	ど	
で	く	か	ま	き	た		や	し	う
す	て	ち	し	り		に	た	ぶ	の
		や	た	ん		の		っ	う
	か	ん		と		っ	バ	え	

様子や思いを書き加えると、  
とてもよい文になります。

「じっくり しっかり くり返し」の4ページを参考にしてください。

○書いた文を、声に出して読むと、自分の文のよいところを探すことができます。繰り返し読んでみましょう。

○絵に描いてみるのも、よいですね。書きたいことが、また見つかります。

なまえ

--

のばす音(ちよう音、ちいさい)や、ゆ、よ「(よう音、ちいさい)」「(そく音、ん)」「はつ音(や)」「は」「へ」「を」を正しくつかえるようにしましょう。

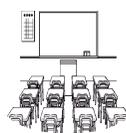
★ まちがえているところを ひらがなで 正しく 書きましょう。

れいおちや

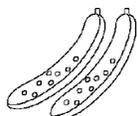


お
ち
や

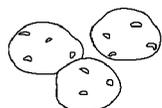
①きようしつ



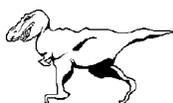

②きゆうり



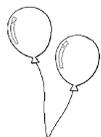

③じやがいも




④きようりゆう




れいふうせん



ふ
う
せ
ん

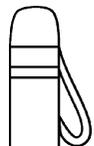
⑤せんべい




⑥てんとむし




⑦すいとお




⑧ばんそおこう



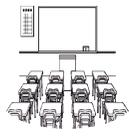

★ まちがえているところを ひらがなで 正しく 書きましょう。

れいおちや



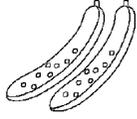
お
ち
や

①きようしつ



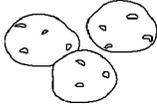
き
よ
う
し
つ

②きゆうり



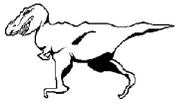
き
ゆ
う
り

③じやがいも



じ
や
が
い
も

④きようりゆう



き
よ
う
り
ゆ
う

れいふうせん



れ
い
ふ
う
せ
ん

⑤せんべい



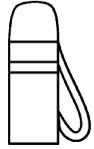
せ
ん
べ
い

⑥てんとーむし



て
ん
と
う
む
し

⑦すいとお



す
い
と
う

⑧ばんそおこう



ば
ん
そ
う
こ
う

※「じっくり しっかり くり返し」の四ページを参考にしてください。

なまえ

のばす音(ちよう音)、ちいさい「や、ゆ、よ」(よう音)、ちいさい「っ」(そく音)、「ん」(はっ音)や「は」「へ」「を」を正しくつかえるようにしま

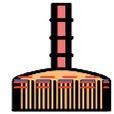
一 絵を見て ひらがなを 書きましよう。



とけい



ふうりん



ほき



こり



おとと



ぞきん



いもと



おんどけ



おかさん

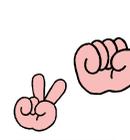


おとさん

二 絵を見て ひらがなを 書きましよう。



でんしゃ



じ



あ



い



じ



ち



ち



ば



じ



よ

のばす音(ちよう音)、ちいさい「や、ゆ、よ」  
 (よう音)、ちいさい「っ」(そく音)、「ん」(はっ  
 音)や「は」「へ」「を」を正しくつかえるよう  
 にしましょう。

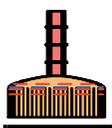
一 絵を見て ひらがなを 書きましょう。



とけい



ふうりん



ほうき



ごおり



おとうと



ぞうきん



いもうと



おんどけい

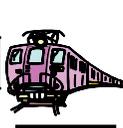


おかあさん



おとうさん

二 絵を見て ひらがなを 書きましょう。



でんしゃ



じやんけん



あくしゅ



いちゅう



じてんしゃ



ちゅう



ちきゅう



ばった



じしゃく



よつと

なまえ

のばす音(ちよう音)、ちいさい「や、ゆ、よ」(よう音)、ちいさい「っ」「そく音」  
「ん」(はっ音)や 「は」「へ」「を」を正しくつかえるように「しましよ。」

一 次の文の□に「お」か「を」を書きましよう。

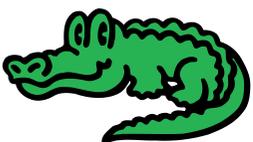
- ① □ □ とうとが、 □ □ かし □ □ たべます。
- ② □ □ はなし □ □ しましよ。
- ③ □ □ どり □ □ どります。
- ④ □ □ りがみ □ □ ります。
- ⑤ □ □ しくらまんじゅう □ □ して、しりもち □ □



つきました。

二 次の文の□に「わ」か「は」を書きましよう。

- ① ぼく □ □、でん □ □ を かけます。
- ② □ □ たし □ □、 □ □ すれものを しました。
- ③ か □ □ に □ □、 □ □ にが います。



三 つぎの ぶんの□に「え」か「へ」をかきましよう。

- ① がっこう □ □、いきましよう。
- ② おとうさんを □ □ き □ □、むか □ □ に いきます。
- ③ □ □ んびつを かいに おみせ □ □ いこう。



のばす音(ちょう音)、ちいさい「や、ゆ、よ」(よう音)、ちいさい「っ」(そく音)、「ん」(はつ音)や「は」「へ」「を」を正しくつかえるようにしましょう。

一次の文の□に「お」か「を」を書きましょう。

① おとうとが、おかしを たべます。

② おはなしを しましょう。

③ おどりを おどります。

④ おりがみを おります。

⑤ おしくらまんじゅうをして、しりもちを



つきました。

二次の文の□に「わ」か「は」を書きましょう。

① ぼくは、でんわを かけます。

② わたしは、わすれものを しました。

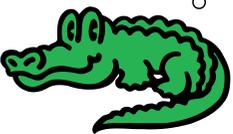
③ かわには、わにが います。

三つぎのぶんの□に「え」か「へ」をかきましょう。

① がっこうへ、いきましょう。

② おとうさんを えきへむかえに いきます。

③ えんぴつを かいに おみせへ いきます。



のばす音(ちょう音)、ちいさい「ゃ、ゆ、よ」「ん」(ん)そく音(、ちいさい「っ」「そく音(、ん」「ん)はっ音(ゃ「は」「へー」を正しくつかえるように「しましゅ。」

★まちがえているところを かたかなで 正しく 書きましよう。

れい

パフエ



パ
フ
エ

① キャンプ



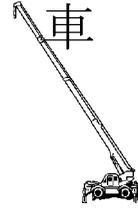

② シチュー




③ ステエキ

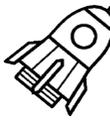



④ クレエン車



車

⑤ ロケット




⑥ サツカア




⑦ ブロツコリイ




⑧ チャアハン




⑨ コンピユウタ




⑩ キヤツチボオル




なまえ


★ まちがえているところを かたかなで 正しく 書きましょう。

れい パフェ



パ
フ
エ

① キャンプ



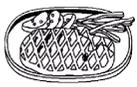
キ
ヤ
ン
プ

② シチュー



シ
チ
ユ
ー

③ ステエキ



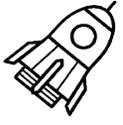
ス
テ
ー
キ

④ クレエン車



ク
レ
ー
ン
車

⑤ ロケット



ロ
ケ
ツ
ト

⑥ サツカア



サ
ツ
カ
ー

⑦ ブロツコリイ



ブ
ロ
ツ
コ
リ
ー

⑧ チャアハン



チ
ヤ
ー
ハ
ン

⑨ コンピユウタ



コ
ン
ピ
ユ
ー
タ

⑩ キヤツチボール



キ
ヤ
ツ
チ
ボ
ー
ル

「じっくり しっかり くり返し」の4ページを参考にしてください。

なまえ

Blank box for writing the student's name.

のぼ(音)ちよ(音)ちい(音)や、ゆ、よ(音)ちい(音)っ(音)そ(音)ん(音)は  
「へ」「を」を正しくつか(音)ま(音)よ(音)。

★次の文で まちがっているところに 線せんを 引ひいて 正しく 直なおしましょう。

1

れい

ぼくわ | は  
やすみじかんに ドッジボール  
ドッジボールを | しました。

① わたしわ きょうしつで どくしよお しました。

② きノウ ハンバアグを たべに レストランえ いった。

③ すきな スポウツは サツカアと やきゆう です。

2

きよう がっこうで なかよしコンサアトが ありま  
した。ぼくわ がつそうで もっきんお えんそうしま  
した。どきどきしたけれど とつても たのしかつたで  
す。

★次の文で まちがっているところに 線を 引いて 正しく 直しましょう。

1 れい

ぼくわ | は ドッジボールを  
 やすみじかんに | ドツジボオルお | しました。

は を

① わたしわ | きょうしつで | どくしよお | しました。

ハンバーグ | へ | いった

② きノウ | ハンバアグを | たべに | レストランえ | いった。

スポーツ | サッカー | やきゆう

③ すきな | スポウツは | サツカアと | やきゆう | です。

2

きよう

きよう | がっこうで | なかよしコンサアトが | ありま

コンサアト

は がっそう を

した。 | ぼくわ | がっそうで | もっきんお | えんそうしま

とつても | たのしかった

した。 | ときどきしたけれど | とつても | たのしかつたで

す。

※「じっくり しっかり くり返し」の四ページを参考にしてください。

なまえ

じゅんじよを 考えながら、つながりの ある 文しようを 書くことが できる ように しましよう。

一 たろうくんの あさごはんの ようすを 分かりやすくする 言ばを □から えらんで 入れましよう。

( )、ぎゆうにゆうを のみました。

( )、めだまやきと サラダを

たべました。

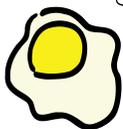
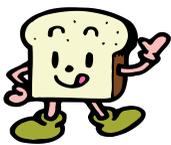
( )、パンを たべたら、おなかが

いっぱいになつて、げんきになりました。

次に

まず

さいごに



二 たんにんの 先生せんせいに、きのうの 休み時間やす じかんにしたことを

次に まず さいごに 言ばを 入れて書いて 教えて

あげましよう。

せんせいへ

より

小学生一・二年生「書く」ワークシート⑪の答えと解説

☆ 順序を表す言葉を使えるようになるよいよです。

一 たろうくんの あさごはんの ようすを 分かりやすくする言ばを  
□から えらんで 入れましょう。

( まず )、ぎゅうにゅうをのみました。

( 次に )、めだまやきとサラダをたべました。

( さいごに )、パンをたべたら、おなががいっぱいになりました。

二 たんにんの 先生に、きのうの 休み時間にしたことを

次に **まず** **さいご**にの言ばを 入れて書いて 教えて あげましょう。

ぼくは ( まず )、ブランコにのりました。

( 次に )、ジャングルジムであそびました。

( さいごに )、なわとびをして、きょうしつにもどりました。

順序が分かる文になりましたか？

書いた文は、必ず、声を出して読み直す習慣を付けると書き間違え等に気付くことができます。

「じっくり しっかり くり返し」四ページを参考にしてください。

なまえ

じゅんじょを 考えながら、つながりの ある 文しょうを書きことが できるようにしましよう。

★じゅんじょを あらわす言葉を、

からえらんで、( ) に書きましよう。

ぼくは、おきたら ( )、いえの ひとに

「おはよう。」

と あいさつを します。

( )、せんめんじょへ 行って、かおを あらい、うがいを します。かおを あらうと、めが ぱちりと あきます。

( )、もちものを げんかんに おきます。きのうの うちに、じゅんびを していても、もういちど、よく たしかめる ことに しています。

もちものを おいた あとに、あさごはんを たべます。とても おいしいです。たべおわると、おさらや コップを かたづけて、はを みがきます。はみがきを すると、くちの なかが すっきりと します。( )、でかける じゅんびを すませて、

「いってきます。」  
 といって、げんきに がっこうへ いきます。

その次に まず  
 さいごに 次に



★じゅんじょを あらわすことばを、 からえらんで、( ) にかきましよう。

ぼくは、おきたら( ) **まず** ( )、いえの **ひと**に  
「おはよう。」

と **あいさつ**を **します**。

( **次に** )、せんめんじょへ **いって**、かおを **あ**  
**らい**、うがいを **します**。かおを **あらう**と、めが **ぱ**  
**つちり**と **あきます**。

( **その次に** )、もちものを **げんかん**に **おきま**  
**す**。きのうの **うち**に、じゅんびを **して**いても、もう  
**いちど**、よく **たしかめる** **こと**に **して**います。

もちものを **おい**た **あと**に、**あさご**はんを **たべ**  
**ます**。とても **おい**しいです。**たべ**おわると、**おさ**ら  
**や** **コップ**を **かたづ**けて、**は**を **み**がきます。**は**みが  
**き**を **する**と、**くち**の **なか**が **す**っきりと **し**ます。  
( **さいご**に )、**で**かける **じゅん**びを **す**ませて、

「**い**ってきます。」

と**い**って、**げん**きに **が**っこうへ **い**きます。



その次に	まず
さいごに	次に

☆

一つ目に	二つ目に
はじめに	また
そして	それから

なども「順序を表す言葉」です。

「じっくりしっかりくり返し」の四ページを参考にしてください。